

ひろしまけん 交通指導員だより

2017.4
第33号

発行：広島県環境県民局
県民活動課
(交通安全対策室)

☆講習会のお知らせ☆

～平成29年度交通ボランティア等ブロック講習会が、
広島市で開催されます。～

内閣府主催で行われるこの講習会は、全国を7ブロックに分けて毎年行われています。平成29年度の中国四国ブロックの講習会は、広島県が開催県となります。

○日時 平成29年9月25日(月)午後～26日(火)午前

○場所 ホテルメルパルク広島(広島市中区基町)

○推薦人数 12名(内閣府が旅費を負担する上限人数、それ以上の参加がある場合は、自己負担となります。また、推薦者も含め、宿泊する場合は自己負担となります。)

前回参加者へのアンケートによると、「他県の活動状況が興味深い」といった意見があるなど、概ね好評です。

なお、推薦方法、講習内容等、詳細が決定するのは7月以降になります。

秋の交通安全運動期間中というお忙しい時期の開催になります。よろしくお願いします。

前回のブロック講習会のスケジュール(松山市にて開催)

【9月29日(木) 13時～17時】

○講演「交通安全指導に必要な実践的スキル」

○各県の活動事例発表

○グループ別交流

【9月30日(金) 9時～12時】

○講演「歩行者・自転車・交通弱者の視点から見えてきた交通安全の意味」

○テーマ別(子ども、高齢者、自転車、街頭指導啓発)グループ討議、発表、意見交換



活動事例発表の様子



グループ討議結果発表の様子

平成29年広島県交通安全年間スローガン
「まだ行ける
渡れそうでも
待つゆとり」

街頭活動時の注意点

～ご自身の安全確保を～

登下校時の子供の見守り活動等においては、次の点に留意して活動を行い、交通事故に遭わないよう注意しましょう。

○活動場所の状況把握

事前に活動する場所の道路形状、交通流、交通規制等、実態を把握しておきましょう。

○活動場所の選定

指導員の方が、道路や交通状況をよく見通せる場所を選定しましょう。

○活動時の注意点

- ・車道には、原則として出ない
- ・車から目を離さず、背を向けない
- ・車が止まってから誘導を行う
- ・有事に備え、退避場所を確保する



春の全国交通安全運動

☆実施期間

四月六日（木）～十五日（土）

☆運動の基本

「子供と高齢者の交通事故防止」

「事故にあわない、おこさない」

- 道路を渡る前には必ず周囲の安全を確認しましょう
- 子供と高齢者に対して、思いやりのある運転を実践しましょう



☆運動の重点

「歩行中・自転車乗用中の交通事故防止」

（自転車については、特に自転車安全利用五則の周知徹底）

- 「自転車安全利用五則」を守りましょう
- ① 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- ② 車道は左側を通行
- ③ 歩道は歩行者が優先で、車道寄りを行
- ④ 安全ルールを守る



「後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底」

○ どこに座っても必ず着用

- ★ 6歳未満の幼児は「チャイルドシート」を使用
- チャイルドシートの座席への正しい取付の徹底

「飲酒運転の根絶」

- ① 飲酒運転を絶対にしない・させない
- ② 酒を飲んだら絶対車を運転しない
- ③ 車を運転する人にお酒を勧めない



運動の関連行事

行事名	日時・場所	内容
春の全国交通安全運動開始式	4月6日(木) 午後2時～ 県庁正面駐車場	交通対策協議会代表による交通安全宣言ののち、交通安全車両パレード出発式を行う。
交通安全キッズパレード	4月6日(木) 午後2時40分～ 本通り商店街	幼稚園児70名を先頭に、運動の周知等、交通安全を呼びかけるため、啓発物を配布しながらパレードを実施する。
交通事故死ゼロを目指す日	4月10日(月)	国民運動として制定され、一人ひとりが交通安全意識を高め、死亡事故0を目指す日



春の全国交通安全運動

4月10日(月)は「交通事故死ゼロを目指す日」です

内閣府

シートベルト着用率（広島県）

運転席一般道路：98.7%
 助手席一般道路：96.5%
 後部座席一般道：34.8%
 " 高速道路等：64.3%
 （H28年警察庁・JAF調査）

※ 後部座席同乗者のシートベルト着用率は、運転者、助手席同乗者に比べ、低い状態でした。



シートベルトは正しく着用しましょう！

③ 前席の人が被害を受ける可能性があります。

衝突の勢いで、後席の人が前方に投げ出されて前席の人と衝突し、双方が大けがをする危険性があります。後席の人がきちんとシートベルトを着用することは、前席の人の命を守ることに繋がっています。

② 車外に放り出される可能性があります。

衝突の勢いが激しい場合、後部座席から車外に放り出されて、堅いアスファルトに体をぶついたり、後続車両にひかれる危険性もあります。

① 車内で全身を強打する可能性があります。

事故の衝撃により、すさまじい力で前席や天井、ドア等にたたきつけられることとなります。仮に、時速60kmで走っている車が壁等に衝突した場合、高さ14mのビルから落ちるのと同じ衝撃を受けます。

後部座席シートベルト非着用の危険性

加害者にも被害者にもならないために
 後部座席もシートベルトを着用しましょう！